



# さくら 2010 春

発行  
社会福祉法人 東桜会  
第 27 号  
〒420-0962  
静岡市葵区東 527 番地の 1  
特別養護老人ホーム 麻機園  
TEL 054(247)8739  
FAX 054(247)8640

## 介護従事者の待遇

麻機園 園長 秋山 通

毎年 4 月には何人かの新しい職員を迎えてきました。今年も 3 月に学校を卒業した 2 名が新たに職員の仲間入りしました。

ここ数年間は看護職員の採用難もありましたが、特に介護職員の離職率の高さが世間の話題になり、昨年 4 月には経済危機対策で「介護職員処遇改善交付金」が提示され、全額公費で、介護職員（常勤換算）1 人当たり月額平均 1.5 万円の賃金引上げに相当する額が、申請された介護保険の事業所に交付されることが決定しました。

紆余曲折はありましたが、当法人としても交付申請を行い、法人の給与規程を改正するなど職員の処遇改善に向けて準備をすすめて、平成 23 年度までの間に交付金の対象にならない職員も含め全ての職員の賃金改善や教育・研修制度の改善、職場環境整備、キャリアパス要件の整備を行っていく予定です。以上のような経緯から、当法人では平成 21 年度の改善調整の為、3 月末日に一時金の支給を行いました。予め職員会議の場で何度か制度の説明や、法人としての対応方法の説明を行いましたが、支給日の職員は一樣にウキウキ顔だったように思います。法人内部で決定した職員処遇の改善策ではなく降って湧いた制度でしたが、これを職員処遇の改善を考えるよい機会ととらえ、今年度からも更に様々な改善を続けていきたいと思っております。

少子高齢化がますます進むなか、介護職員の待遇が良くない為に採用困難や離職者が多いと言われていますが、国の主導による介護職員処遇改善策により、職員の採用困難や定着率の向上が改善されることを期待すると共に、東桜会では、職員と協働して職員処遇向上を行いながら、引き続き介護サービスの質の向上を目指し続けます。

## 新しい職員の紹介

### 麻機園 寮母 麻野智子

2 月からお世話になっております。私は、男の子三人の母親で、趣味は読書とアウトドアです。「井川少年自然の家」でのボランティアと清水海洋少年団で準指導員をしています。これから麻機園で皆さんと共に楽しく頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。



### 麻機園 寮母 小泉富三郎

今春、専門学校を卒業し皆様の仲間入りしました。高校の時に参加したボランティアがきっかけで、介護の道に進もうと思ひ今に至ります。趣味は小さい頃からやっていた野球とテニスです。早く仕事を覚え、皆様と楽しく過ごして行きたいです。お願ひします。



### 麻機園 寮母 土屋綾乃

静岡福祉短大を卒業しました。私はスポーツが好きで、学生時代の 8 年間はバレーボールをやっていました。体を動かすことが大好きです。入所者の皆様方と、楽しく体を動かす事が出来たらいいなと思ひます。元気に明るく仕事をして行きたいです。よろしくお願ひします。



濱政子さん100歳おめでとうございます。

平成22年1月17日の日曜日に100歳を迎えられ、『100歳お祝い会』を開催しました。お祝いには、息子さん夫婦、娘さん夫婦、お孫さん夫婦と2名の曾孫さんの総勢8名の方が来園して下さいました。お祝い会では、曾孫さんから花束を、職員からは寮母全員の寄せ書きの色紙を贈呈し、園からは鶴亀まんじゅうを贈りました。「食べる物ならお饅頭がいいね」と濱さんがおっしゃっていたので、縁起物の鶴と亀を形どったお饅頭にしました。記念の品を渡す度に「ありがとね」とお礼を言いしっかりと両手で受け取られました。

「いつもありがとね」と居室に立ち寄った時、話をした時など、いつでも私たちの手を握ってその声を掛けてくれる濱さん。おっとりとして、いつも穏やかな濱さんの人柄から暖かみが伝わってきます。

お祝会の後、濱さんご家族の皆さんには別室で記念の鶴亀まんじゅうを召し上がっていただきました。「このお饅頭、甘くておいしいね」と口いっぱい頬張り、たくさん召し上がっていました。

まだまだお元気な濱さん、来年再来年と歳を重ねて行かれると思います。これからも、私達と一緒に時間を過ごさせて下さい。



(亀まんじゅうを受け取る濱さん)

## 100歳お祝い会プログラム

- 14:30 ~ 御家族のエスコートで濱政子様入場  
お祝いの言葉(職員代表)  
曾孫さんから花束の贈呈  
寮母から寄せ書き色紙の贈呈  
鶴亀まんじゅうの贈呈  
スライドショー  
お祝いのお手紙披露  
御家族から一言  
濱政子様からお礼のご挨拶  
15:10 閉会の言葉

## 花見の会

麻機園 寮母 石神千裕

マイクロバスに乗って、お弁当を持って城北公園にお花見に出かけました。当日の天気はあいにくの曇り空……。城北公園に着く頃には雨が降り始めていましたが、小雨だったので公園をぐるりと一周桜を見て歩きました。満開の桜を眺めて「きれいだねえ～」と皆さんの声が多く聞かれました。その後、市内の桜の名所をドライブしながらまわって帰ってきました。お楽しみのお弁当は、残念ながら園に戻ってきてから食べることになってしまいましたが、「久しぶりに外に出られてよかった」と参加された皆様には大好評でした。麻機園の庭の桜も満開です。今度は晴れた日に庭で花見をしましょう。

「入所者は鏡」

寺尾美由記

私は今年、麻機園に就職し7年目の春を迎えました。  
私はいつも入所者は自分の鏡だと思つて介護をしています。  
本を読みたいのに、回りがバタバタと動いていたり、御飯を食べているのに隣で大きな声をだしている人がいます。こんな時私だったら本をゆっくり読む事ができないし、ゆっくり御飯を食べる事もできないと思います。入所者の方は職員の動きにとても敏感です。職員が忙しく動いていると、入所者は落ち着かなくなります。  
入所者が落ち着かない時は「職員が落ち着いてないよ」って態度で教えてくれている気がします。  
入所者が笑顔でいると私も笑顔になります。入所者から笑顔をもらっている事が本当に多いと思います。介護は楽しいことばかりではありません。しかし、自分にとって介護は人として成長できる仕事です。また私が入所者を支えているのではなく入所者や周りのスタッフに支えられ、私は介護ができているのだと思います。  
これからは、入所者の、  
“かゆいところにも手が届く”  
そんな寮母になりたいです。